

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅱ（２年次）【３単位】	
授業形態	講義、表現活動（歌唱、器楽、創作）・鑑賞活動			
選んでほしい生徒	音楽Ⅰを履修した者で、さらに広く音楽についての知識を深めようとする意欲があること、歌唱や様々な楽器の演奏に興味があること。			
科目の目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。			
身に付けてほしい学力	表現活動においては、音楽のよさや美しさを形づくっている要素を感じ取り、意図をもって表現する能力を習得する。鑑賞活動においては、音楽の特徴、文化的背景、演奏表現について理解し感じ取るとともに、根拠を持って批評することができる。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	<p>【１学期】</p> ドイツ歌曲 アジアの音楽 各種アンサンブル ミュージカル		<ul style="list-style-type: none"> 音楽Ⅰでの内容を発展させながら、更に音楽の基礎を学習する。 歌唱、器楽、創作の活動を通し、表現技術を高める。 各種アンサンブルの活動を通し、相互理解や相互評価を大切にして感性を高める。 様々な地域の音楽文化に触れ、鑑賞能力を高める。 	
評価の観点・評価方法	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
	<ul style="list-style-type: none"> 音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 創意工夫を生かした音楽表現をするための技術を身に付け、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽の諸要素を知覚・感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、実技試験、提出物、授業態度等を総合的に判断し評価する。			
学習のアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 実技を伴う内容が多いので、休まずに出席し様々な表現方法を意欲的に習得してほしい。 2 表現や鑑賞の活動から感じたことを積極的に伝え合い、相互批評する力を高めてほしい。 3 定期考査では、実技試験、筆記試験を実施するので、ファイル整理をしっかりと行うこと。 			
教材費	450円程度（音楽Ⅱ Tutti 教育出版）（各自音楽用ファイルを準備のこと）			
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1 何かの検定につながることはない。 2 音楽大学受験のための学習とは違って、音楽を幅広く学習する。 			